北小物語2018

平成３０年　７月１１日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ．（ ３１ ）
校長　曽川　和則

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第３１話：「北小梅雨明け宣言～ラスト１０日をがんばります！～」の巻　☆★☆彡

北小梅雨明け宣言！

７月６日から８日にかけて降り続いた雨は、西日本各地で記録的な大雨となり、「平成３０年７月豪雨」と名付けられました。想像をはるかに超えた豪雨は、各地に甚大な被害をもたらし、１０日午後１１時現在、１２府県で死者１５７人、行方不明５６人という「平成における最悪の事態」となっています。警察や自衛隊、災害ボランティアの方々の懸命な捜索活動が続く中、被害は更に拡大の一途です。被害に遭われた方々の御冥福をお祈りするとともに行方不明の方々の一刻も早い救助を願うばかりです。今の時代、いつ、何時、自然災害が起こるか分かりません。悲しいことですが、人的な事件も発生し、私たち自身の身の守り方を考えていかなければならない状況となっています。６月２８日（木）に実施したＰＴＡ主催「ＡＥＤ講習会」は、まさに目の前の救えるいのちを救う手段となります。人の力を超える災害ですが、人の力でできる限り防ぎ、いのちを守っていきたいものです。子どもたちも楽しみにしている夏休みが、もうそこまで来ています。「備えあれば憂いなし」。楽しい夏休みとなるよう、ご家庭でも災害に対する十分な備えといざという時のための家族の会話をよろしくお願いいたします。

さて、９日（月）、気象台は本県の「梅雨明け」を宣言しました。台風７号に引き続き、豪雨のダメージを受けながらも、校庭の「ひまわり」は、しゃんと背筋を伸ばし、夏の青空へと向かう姿勢を見せています。プールにも子どもたちの歓声が帰ってきました。わが北小も「梅雨明け宣言」発令です。夏休みまで、残り１０日。「ふりカエル」を大切に、１学期のまとめをしっかり行い、校庭の「ひまわり」に負けないように青空（目標）に向かって力いっぱい伸びていきます。☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

小さな画伯、「遊び」を描く！

梅雨が明け、子どもたちが楽しみにしていること。それは「遊び」です。校長室の前の１年生教室をこっそりのぞくと、小さな画伯たちが、白い画用紙の上にクレヨンを滑らせ、何やら楽しそうな絵を描いていました。それぞれに大好きな「遊んでいるところ」の絵です。梅雨明け・・・画用紙を飛び出して、めいっぱい遊びます。